

教科・「科目」	工業・「製図」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		4	座学・実習	3	建築科選択科目

1. 目標と評価規準

目標	製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。	
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法
関心・意欲・態度 (10%程度)	製図に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	学習状況 作業準備状況等
思考・判断・表現 (30%程度)	製図に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断する能力を身に付けている。	課題作品等
技能 (30%程度)	製図の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用し、表現する創造的な能力を身に付けている。	課題作品等
知識・理解 (30%程度)	製図の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	課題作品等
使用教材等	建築設計製図(実教出版)	

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	第4章 木構造の設計製図 木造住宅の設計製図	木造2階建て住宅の設計製図 ○配置図兼平面図、立面図、断面図 2年次の建築構造で学んだ知識を復習しながら、丁寧に模写させることで、使用場所と構造的な意味について定着させる。 ○小屋伏図、屋根伏図、天井伏図 寸法を読み取る力を付けさせる。また、他の図面との関連性を理解させる。	学習用パソコンに資料を提示 電子黒板に資料を提示
	5			
	6			
2 学期	7	第5章 鉄筋コンクリート構造の設計製図	鉄筋コンクリート構造の製図 店舗付事務所設計図の模写を通して鉄筋コンクリート造の製図法を学ぶ ○配置図、平面図 木造の製図法を基礎とし、これらの構造体との相違点および特殊性を理解させ、その製図法を習得させる。 ○基礎伏図、各階梁伏図、配筋リスト表 各伏せ図と配筋リストを関連させ、構造計算書および構造計算基準に基づいて書かなければならないことを理解させる。 ○立面図、断面図 店舗付事務所設計図におけるの各部の構造、断面サイズを理解させ断面図を書き構造を理解した上で、立面図の作図要領を理解させる。 ○基礎配筋図、階段配筋図 配筋図の作成にあたっては、「建築構造設計」・「建築構造」とも関連をもたせ、構造計算書および構造計算基準に基づいて書かなければならないことを理解させる。	学習用パソコンに資料を提示 CAD室中間モニターに資料を提示
	9			
	10			
	11			
3 学期	1	第8章 CADの基本	CADIによる製図 ○CAD製図の基本 手書きで書いた図面をCADを用いて作図。 CAD実習で学んだことと関連付け、「精度の高い図面が書ける」、「修正、加筆が容易にできる」ことなどを理解させる。	学習用パソコンに資料を提示 CAD室中間モニターに資料を提示
	2			
	3			

備考	
----	--